

Shinsei
2021 Vol.38

2021年5月14日 発行

医療法人 厚生会 道ノ尾病院「新星」Shinsei編集部
〒852-8055 長崎市虹が丘町1番1号
TEL 095-856-1111 FAX 095-856-4755

新星

題字：松本 寿美子



CONTENTS

- 2 新しい内科医の紹介
- 3 連載⑤ みちのお職員「レントゲン技師」
- 4 電気けいれん療法（ECT）～コメディカルの紹介～
- 5 院内研究の冊子が出来上がりました
- 6 訪問看護ステーションすみ香の紹介
- 7 嚥下障害と姿勢について
- 8 定年退職した看護師からのお礼

基本理念 患者第一主義

基本方針

- 挨拶と笑顔をもって皆様（患者・家族）に接します
- 疾病や治療に対して十分な説明と同意に基づき、患者本位の医療を提供します
- 患者の権利を認識し、尊重します
- 地域における責務を認識し、開かれた病院を目指します
- 職員研修を行い、常に研鑽に努めます
- 健全な病院経営に努めます
- 患者の社会復帰に努めます

ご挨拶

内科医

安岡

彰

2020年10月より、内科医として着任させていただきました 安岡 彰 と申します。

1984年長崎大学卒で、長崎大学病院の第二内科（現在の呼吸器・感染症・腎臓内科）出身です。

県内の病院から、東京大学医科学研究所病院、米国カリフォルニアのロッシュモレキュラーシステム研究所、国立国際医療センター、富山医科薬科大学（現富山大学医学部）附属病院を経て、長崎大学病院の感染制御教育センター長として長崎に戻り、その後市立大村市民病院に勤務していました。

専門は内科の中でも呼吸器、感染症ですが、前任地では総合内科や救急対応なども経験し、コロナ感染症の対応にも携わってきました。

この度、縁あって当院の内科医として赴任させていただきました。これまでの経験を生かして、患者さんの身体疾患の管理・治療でサポートしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

私のサードプレイス（自宅、職場以外の第3の居場所）は家の近くにある畑でしょうか。

耕作放棄地となっていた2アールほどの土地で、野菜などを作っています。

この原稿が公表される頃はジャガイモやタマネギを収穫していると思います。

以前は忙しくて余り手を入れられませんでした。今は少しずつ作物を増やしています（それでも草ぼうぼうですが）。

食中毒対策

過ごしやすい季節になりました。これから湿度も高くなりますが、夏を元気に過ごすために食中毒予防についてご紹介します。

※食品を扱ううえで以下の3つが大切になります。

食中毒予防の3原則

- ① につけない
- ② 増やさない
- ③ やっつける



【につけない】

・手には様々な雑菌が付着しているため、調理を始める前にはよく手を洗いましょう。調理の途中で鼻をかむ、おむつを交換する、動物に触る、トイレに行く、携帯をさわるなどをした際も要注意です。

- ・手荒れや、手に傷があるときは使い捨て手袋をつけましょう。
- ・焼肉の時にも、生肉をつかむ用と焼けたものをつかむ用とトングを使い分けましょう。生肉は少量の菌でも食中毒を起こしやすいです。

【増やさない】

- ・生鮮食品やお惣菜などを購入した際は、できるだけ早く冷蔵庫に入れましょう。
- ・また、冷蔵庫で保存しているからと安易に考えず早めに食べましょう。

【やっつける】

- ・食材は十分に加熱しましょう。
- ・調理器具は洗剤でよく洗い、熱湯をかけて殺菌しましょう。
- ・キッチンタオルや布巾もきれいなものに交換しましょう。



診療放射線
技師の仕事って
どんなもの？

一般X線撮影・消化管造影検査・血管検査・マンモグラフィー・CT検査・MRI検査・核医学検査・放射線治療・超音波検査・骨密度検査などの画像や放射線に係る仕事になります。

また、検査に係る被ばく線量の管理や検査機器や画像サーバー等の管理も担当することがあります。

医師が診断や治療方針を決定するのに必要な画像を撮影していくのが主な仕事です。

診療放射線
技師を選んだ
理由

部活でバスケットをやっていて指や腕や足をと怪我をすることが多くレントゲンはよく撮ってもらっていました。

高校3年時の進路をいよいよ決めなければならない時期に将来は人と接する仕事がしたいと考えていて、病院で働くとしたらどんな仕事があるのだろうと調べてみていて、レントゲンはよくお世話になったしどうやったらなれるのだろうと仕事の中身を深く調べていくうちに楽しそうだなと思ったのが診療放射線技師を目指したきっかけでした。

仕事内容

おもにレントゲン室での一般X線撮影や病棟へ行ってポータブルX線撮影をしています。病院での診療放射線技師は縁の下力持ちです。

医師や看護師・リハビリスタッフのように患者さんと直接コミュニケーションをとる機会はあまりありませんが病気や怪我の診断に必要な検査をしています。

胸のレントゲン1つでも立てない方や体位のキープが難しいなど様々な状況がありますが、考えて工夫して撮影することで医師が診断や治療方針の決定に貢献できるものを提供できた時に患者さんへも貢献できたとやりがいを感じています。

検査時に患者さんへ症状を聞いたり痛いところを確認し怪我をしている患部を見せてもらいながら見たい所の予測をして、この角度でと考えたり医師へ追加撮影させてもらうよう依頼して撮影し、その結果写真へ撮りたいもの診断に必要なものを写すというのが診療放射線技師の腕の見せ所です。

ECT

電気けいれん療法 (ECT)

～コメディカルの紹介～ ①



看護師
彌永師長



令和2年12月より、ECT (電気けいれん療法) を開始しました。開始に至っては、当院看護スタッフが未経験のため、県立精神医療センターのご協力のもと、ECTセンター内設備や施術見学や、同院ECT専門看護師の村島さんに直接ご指導やご支援を受けました。医師と協力しながらシュミレーションを繰り返し、無事に初日を迎える事ができました。看護スタッフは11名でチームを結成 (3月から3名追加して14名) し、施術は担当業務を割り振り、当初は緊張しながらECT施術にあたっていました。スタッフも徐々に業務に慣れ、少しずつ業務に改良を加え、より安全に施術を実施できるようになりました。

近年増加している治療抵抗性疾患に対し、クロザリルに続いて治療効果が期待でき、実際にECT開始から数か月ですが精神状態が改善して、自宅退院に繋がった方もいます。今後は患者様がさらに安心して施術を受けられる環境づくりと、スタッフの育成に目を向けて精進して行きたいと考えています。



• 電気けいれん療法 (ECT) ってどのような治療ですか？

杉本主任

- 治療機 (サイマトロン) から頭部にごく短時間の通電を行い、脳に刺激を与えて様々な症状を改善することを目的とした治療法です。



• ECTはどのような方が受けていますか？

中垣看護師

- うつ病、統合失調症、緊張病など様々です。お薬の効果が感じられない、身体の衰弱など迅速な改善を必要とする状況も対象となります。



• ECTは1回で効果がありますか？

原口看護師

- 当院では1クールを週2回の計10回行っています。10回行う方や5回で終了する方と、効果には個人差があります。



• ECTには副作用がありますか？

水野主任

- 血圧上昇、頻脈、頭痛、筋肉痛などがよくみられますが一時的なことが殆どです。鎮痛薬などで対応しています。



ECT委員会

院内研究の抄録が出来上がりました



毎年6月に行なっていた院内研究発表会が新型コロナウイルスの流行により開催できませんでした。令和2年度の院内研究発表は抄録作成をもって開催とさせていただきます。発表予定だった11名の方は時間をかけて研究に取り組み、症例をまとめあげました。発表をする場がないことは残念ですがそれぞれよい症例が出来上がりましたので紹介をさせていただきます。

院内研究発表小委員会



A-1 久保 乃也

認知症患者の介護衣解除に向けた取り組み
～インナーの導入と介護衣・インナー体験から学び得たもの～



A-1 山口 大志

認知症におけるてんかん、てんかん様症状の発現率



B-3 末続 翼

ストレングスに目を向ける力を磨く
～病棟スタッフの意識変化と患者・看護者の相互利益のために～



リハビリテーション科 坂井 孝行

統合失調症患者の頸部・体幹の状態が嚥下機能に与える影響と運動の効果について

A-4 濱口 人吾

長期入院患者の退院支援を振り返って
～病棟看護師に求められる看護の視点について～

B-3 石橋 祐一

陰性症状を抱える患者への作業療法の効果的
促進に向けた看護師の関わり
～褒める声掛けが内発的動機付けに与える影響～

C-4 池田 麻里

隔離患者の個別性に応じた症状観察
～フローシートの個別性の充実から見えてきたもの～

デイケア 川井 聖佳

デイケア通所者に対する健康教室の現状と課題
～アンケート結果から見えた今後の課題～

B-1 福井 留美

経管栄養を行う患者の負担軽減への取り組み
～興味のあることに意識を向けて～

C-3 本村 太志郎

急性期病棟における家族支援の現状と今後の
課題
～ケアへの思いが変化～

C-5 小川内 健一

精神科病棟における2人体制導入の効果
～スタッフのストレス軽減を目指して～



前号に引き続き、すみ香よりお届けいたします。今号では訪問現場で実際に支援した一例をご紹介しますと思います。テーマは“いきいきと地域で暮らす”支援です。

Aさんは五島生まれ。約20年間の入院生活を経て宿泊型自立訓練施設に退院し、地域生活6年目を迎えました。故郷にいる父への想い、墓参りなど望郷の念を胸に抱き、施設スタッフに付き添ってもらいながら、年1回の帰省を行っていました。

帰省4回目を迎えた年、Aさんは施設を卒業し共同住居（敷地内アパート）での生活を始めたため、施設スタッフが支援として付き添うことが難しくなりました。本人は故郷へ帰りたい想いと、一人で帰れるかどうかの不安に悩んでいました。そこで訪問時に、一人で帰省できるように準備と練習をしてみないかと提案してみたところ、本人も希望されたので、「五島日帰り旅行計画会議」をAさんと行いました。



バスに乗れますか？
フェリーターミナルや実家までの道は覚えていますか？

時間がわかればバスも乗れる。道も覚えとる。



などなど、過去の帰省経験がしっかり記憶に残っていたり、公共交通機関の利用が出来たり、Aさんが持っている力が会議の中で色々とわかってきました。Aさんが不安に感じている点を洗い出し、「旅のしおり」を作ることに。主治医の先生も了承して頂き、更に通所している就労支援B型事業所とデイケアスタッフとも連携協力し、【旅先あるあるコミュニケーショントレーニング（SST）】を実施してもらいました。バスの行き先を確認する、時刻を確認する、道を探ねるなど、道中役に立ちそうなコミュニケーションパターンをいくつか事前に練習をしました。またAさんには休日に、フェリー乗り場までのバスの乗車練習を兼ねて往復チケットの購入にも行ってもらい、バスに乗る力も持っていることを確認するなど、準備を整えて出発日を迎えました。

当日はしっかり「福江についたよ」や「父ちゃんと会えた」、「今から長崎帰る」など状況報告の電話をしてくれました。その後も「旅のしおり」通り、自分の部屋まで無事に戻ってくることが出来ました。後日の訪問看護で振り返りを行ったところ…



何が一番難しかった？
困ったことは？

え！？
そこ…(笑)

煙草を吸うところに
困った。



約20年という長期間の入院生活を送っていたAさん、果たして一人でバスに行き先を間違えずに乗れるのか、運賃を間違えずに支払えるのか、フェリーに乗れるのか、各場面で店員、運転手などと話せるのかなど、いろいろ心配でした。支援者側も不安が優先し“転ばぬ先の杖”をつい作りすぎてしまう、信じる気持ちが負けてしまうこともあります。私達も力不足、未熟な点はありますが、これからも利用者の皆様が、自分の人生の主人公として“いきいきと地域で暮らす”ことができるように、微力ながらご協力させて頂きたいと思います。

作業療法士からみた摂食嚥下障害

摂食嚥下障害とは、脳血管障害などが原因で咀嚼・送り込み・嚥下の一連の動作が難しくなり、口から食べられなくなることです。摂食嚥下障害では、栄養摂取不良による脱水症や栄養不良、誤嚥による肺炎や無気肺などの呼吸器合併症や窒息、人間の根本的な欲求である食べる楽しみを失う恐れがあります。

私は作業療法士ですので、摂食嚥下障害の方の身体機能と精神機能について評価し、何が原因で食事が食べられないのか、どうしたら食べられるようになるのかを考えてアプローチします。

その中でも姿勢は適切か、食事動作では皿や箸を持って上手く使うことができているか、環境は適しているのかを評価し、摂食動作の訓練や環境調整を行います。



なぜ姿勢を整えると安心して食べられるのか？

姿勢を整えることを専門的にポジショニングと言います。ポジショニングは誤嚥を予防し、食事の自立を通して健康回復や豊かな食生活行動に繋げていくことができます。機能的には口腔や咽頭腔の位置や形態を変え、食物の流れを促すようにすると誤嚥を予防することができます。頸部が後屈し不安定な姿勢では、関節拘縮、唾液誤嚥、摂食嚥下機能低下、誤嚥や誤嚥性肺炎を起こす要因となるので特に注意が必要です。適切なポジショニングを行うと摂食嚥下障害による栄養不良や誤嚥性肺炎等の発生を最小限にすることができます。

安心して口から食べるための条件

- ① 座った姿勢が保てる
 - ・ 前傾姿勢が保てる
 - ・ 首が自由に動く、安定している
 - ・ 前屈位がとれる
- ② 座った姿勢で呼吸が安定している
- ③ 意識がある：認知能力がある
- ④ 手を動かすことができる
- ⑤ 口の開閉可能
- ⑥ 咀嚼ができる
- ⑦ 口唇・舌の動きあり
- ⑧ 飲み込むことができる
- ⑨ 息を止めることができる
- ⑩ 胃からの逆流なし
 - ↓ 更に「おいしく食べる」ためには…
- ⑪ 口腔機能が保持されている
- ⑫ 共に食事をする人がいる（同じ味を共有する楽しみ）
- ⑬ 美味しい食材と料理
- ⑭ 食事に適した環境

適切な食事姿勢

食べやすい姿勢

2 腕に杖などを当て、やや前かがみ

4 ひざは軽く曲げる（ベッドの折れ目に合わせたり、ひざ下にクッションなどを当てる）

5 足がすり下らないように足の裏にクッションなどを当てる

1 頸の角度は、食べやすくなるよう調整（45～60度以上）

3 腰はベッドの折れ目に合わせる（合わない場合は、背にクッションなどを当てて調整する）

上体をやや後方に倒すと舌に接触が付き、食べ物が喉頭へ送りこまれやすくなります。

食べにくい姿勢(例)

ベッドを少し起こした状態では、前かがみになることが難しく、あごも上がるので、嚥下しづらくなります。

テーブルが高い、背との距離が遠い

背向けに近い状態

身体がずれて姿勢が不安定、腰が痛んでいる

肩胛が圧迫されて重くなり、食事が摂りにくくなります。誤嚥、誤嚥のリスクも高まります。

食べやすい姿勢

1 背筋を伸ばしてあごを軽く引き、やや前かがみ

3 テーブルの高さは、肘を乗せてひじが90度に曲がる程度

6 足は床につける

2 持ちたれのあるいすに深く腰かける

4 体とテーブルの間はこぶす一つ分くらい開ける

5 いすの高さはひざが90度に曲がる程度

食べにくい姿勢(例)

姿勢が安定しないと、食べ物が口に上手く運ばずこぼしたり、誤嚥につながる恐れがあります。

あごが上がっている

背中が丸くなっている

飲み込みにくくなります。

肘とテーブルの距離が遠い

いすとテーブルが高すぎ、足が浮いておりたり低すぎたりする

姿勢が不安定

前かがみの姿勢がとりにくくなります。

このことに注意していただくと安心して口から食べられるだけでなく、食べる楽しみを失わずにおいしく食事ができます。食事は1日の中でとても大事な時間です。食事の時間が不快・苦痛だと拒食にもつながってきます。共に食事をする人がいて、楽しみながら食事ができるように「姿勢」について考えていきましょう。

道ノ尾病院へ思いをこめて

～退職される看護師の思い出～

この度、長年勤めていた病院を定年退職することとなりここに一筆しるすことにしました。わたしは22歳で入職し、約40年近く道ノ尾病院で看護師として勤務をしてきました。

昭和の時代から平成～令和へと移りゆくなかで精神科の医療を看護師という視点から道ノ尾病院を見てきたこととなります。精神科の医療は国の政策によりいくつかの節目をもて移り変わっていきました。

精神衛生法時代の入院中心だった昭和の時代から平成の精神保健法そして精神保健福祉法、障がい者自立支援法と、わたしの看護もそれに逆らうことなく追従し、患者様のケアに尽力してきました。入院中心だったころは患者様の入院生活の変化やリズムを考えレクリエーションに力を注ぎ、患者様と一緒に話して遊び、治療～退院の時代には主治医の先生を中心に退院支援のチームの一員として力を注いできました。この移りゆく精神科の医療を経験できたのは私の人生のなかでも宝物です。

また、こんなに長く務めることができたことには、松本理事長先生はじめ現院長先生のご配慮があったからだ感謝をしています。だんだんと定年が近づく数年前には、趣味の一環である歌を作ってみました。作詞にあたっては、長年勤め上げ退職する職員の方も多くおられ、その目を目前にすると、道ノ尾病院でのいろんなことが走馬灯のように思い出せるのは誰も同じではないかと考えながら曲を書

いたことを覚えています。ここに歌詞を載せますので、どんな歌か想像しながら読んでみてください。最後になりますが、わたしの長年の人生を支えてくれた道ノ尾病院と、出会った沢山の患者様へ感謝して終わりたいと思います。

去って行くあなたへ「退職の歌」

2014 MUSIC by SHINGO

- 1 今みんなの顔を前に 過ぎ去った日々を思い出す
長い道のりの中で出会った たくさんの笑顔
毎日の患者さんとの笑顔と出会い 病気であるが故の苦しみとせつなさ
すべてこの目で見てきた私 今までみんなありがとう
人生の中で知った 人の心
人生の中で知った 人の温かさ
今ひとつの 終わりを迎え こみ上げるなみだ
- 2 今あざやかに思い出す 病院の坂を通った道のり
迷子になりそうな広い病院 すれ違う笑顔と笑顔
やさしくたたずむ新先生 玄関前に映る新の池
緑あふれるおかたの森 いつも集うランチ
人生の中で知った 人の心
人生の中で知った 人の温かさ
今ひとつの 終わりを前に 新たな日を迎える
- 3 岩屋を見上げる暖かな病院 優しく強かった先生の面影
走り疲れたグラウンドの運動会 浴衣姿の夏祭り
やさしいみんなの挨拶と笑顔 いつまでも名残り惜しいし
惜別の中で人を思う大切な心 いつも慕われる心
人生の中で知った 人の心
人生の中で知った 人の温かさ
今ここに 終わりを迎え 新たな日へと旅立つ

大きな愛をありがとう たくさんの愛をありがとう
いつまでもここに(いつまでも) いついつまでも
いついつまでもありがとう



©2018 VVN

道ノ尾病院はV・ファーレン長崎を応援しています



医療法人厚生会

- 道ノ尾病院 ○虹が丘病院
- みちのおメンタルクリニック
- 宿泊型自立訓練事業所 ふれあい
- 就労継続支援B型・ワークステーションかいこう
- 訪問看護ステーション すみ香
- ヘルパーステーション にじいろ
- 相談支援事業所 にじいろ ○居宅支援事業所 にじいろ
- れいんぼうハウス滑石 ○住宅型有料老人ホーム ほの香

社会福祉法人新生会

- 特別養護老人ホーム 望星荘
- 障害者支援施設 虹が丘学園

【医療法人厚生会 道ノ尾病院ホームページ】

<https://www.michinoo.or.jp>

道ノ尾病院

検索



モバイルの方



スマートフォンの方



パソコン・スマートフォン向け

道ノ尾病院 新着情報通知のお知らせ

道ノ尾病院HP上に出るポップアップを通知許可していただくと以降、新着更新情報をプッシュ通知で受け取ることが出来ます！

パソコンやアンドロイド端末はアプリ不要で直接プッシュ通知を受け取ることが可能です。

※iOS端末(iPhone・iPad)は「みんなのお知らせ」アプリをインストールし、お知らせ通知を許可するだけで以降、直接プッシュ通知を受け取ることが可能です。



通知許可ボタン表示